



## 平成27年度南が丘ウェルシー自治会定期総会議事録

日時	平成27年4月12日(日) 10:00~11:50	場所	ウェルシー集会所 2F 会議室
----	---------------------------	----	-----------------

平成27年度南が丘ウェルシー自治会の定期総会が以下の内容で開催されました。  
当日のご意見等については自治会役員会で受け止め、今後検討させていただきます。

### 1. 資格審査

会員総数 303名(平成27年4月12日現在)に対して、  
出席者62名+委任状170名=232名 (232/303名=76.6%)  
会員総数の1/2以上であるため、自治会会則第6条1項により、本総会は成立しました。

### 2. 議事(平成26年度南が丘ウェルシー自治会)

- 議案1号 平成26年度事業報告の承認について
- 議案2号 平成26年度収支決算書及び監査報告の承認について

### 議事(平成27年度南が丘ウェルシー自治会)

- 議案3号 平成27年度事業計画(案)の承認について
- 議案4号 平成27年度収支予算(案)の承認について
- 議案5号 平成27年度秦野南が丘ウェルシー防災会組織の承認について

### 3. 質疑・意見等

#### (1) 議案1・2号について

【質問】26年度の事業計画に載っていない行事(夕涼み会)が、今回の事業報告には載っている。定期総会で承認を得られていない事業を行ったということになる。なぜ計画にない行事を行ったのか。決算書に夕涼み会の費用のことも書いていない。これについて説明をお願いしたい。

【回答】今年度の自治会活動を推進するにあたり、今年は、住民の皆さんが自発的に行っている事業も自治会で支援しようという方針で行った。夕涼み会については、昨年までは協賛だったが、参加者からの「自治会が行うことで参加しやすくなる」という声もあり、自治会主催行事とした。開催の形態は例年と同様で、自治会からの費用の支出は特にない。この他番館独自のイベント等については主催行事とせず協賛行事とし、広報等で支援することとした。

【質問】なぜ夕涼み会を自治会でやらなければいけないのか。その意義をうかがいたい。

【回答】今年度は①住民間の親睦 ②防災の準備を二大柱に、住民が気軽に参加できて親睦をはかれる機会を増やす、しかも役員にあらたな負担をかけない方法で行う、ということを中心にかけた。

【質問】先月、自治会行事に関するアンケートがあったが、夕涼み会について賛意はどれくらいあり、またどんな意見があったのか。

【回答】アンケート結果のご報告が遅れており申し訳ない。現在、結果を書面にして住民のみなさまにご報告ができるよう、次年度に申し送る算段をしているところ。夕涼み会については概ね、よい／61%、よくない／16%といったところ。(納涼祭に対して)ウェルシー単独で行うこのような内輪の行事は、こぢんまりとしていて親近感があり、近くで行きやすいという声もある反面、手間がかかるのでは、費用がかかるのではという声もあった。アンケート結果の詳細は、後日わかりやすい形に紙面化して回覧する予定。

【意見】外部の人が参加しているものもあるようだが、今後も住んでいる我々の為に有意義な行事を行っていただきたい。

【意見】① 備蓄用アルファ米とは何食分を購入しており、またその単価は？ ② 予算中に市からの交付金14万円とあるが、南地区自治会連合にも交付金が出ているはず。この他に負担金の支出もあり、交付金はどのような構成になっているのか。

【回答】① アルファ米用積立金は、毎年92500円を一般会計から繰り入れ、4年間で総額37万円を積み立て、保存期限に合わせ買い換えている。常時1000食を備蓄しており、1食単価は350円程度。② 自治会組織は、秦野市自治会連合の中の南地区自治会連合会、その中の南が丘ブロック(8自治会)、その中のウェルシー自治会、という図式になっている。南地区自治会連合会は、市からの補助金と各自治会からの負担金で運営している。

【質問】議案2号の決算書・貸借対照表について。① 決算書の摘要に支出の主な名目だけが書いてあるが、これでは何にいくら使ったのか明細がわからない。この機会に教えていただきたい。② 繰越金が100万円ほどもあるようだがこれはどのようにするのか。③ 決算書を見る限り保険料の記載がないが、自治会活動のための保険は入らなくてよいのか。④ 貸借対照表には銀行の残高証明書も添付されておらず、本当にこの額なのかチェックのしようがない。次回からは、通帳のコピー等でも添付された方がよいのでは。

【回答】① 決算書については例年の書式を踏襲しており、今まで明細まで盛り込むということがなかったため、そのような形になっている。(続いて財務部長より、質問のあった項目について明細と金額を説明)ご指摘を活かし、今後支出の状況など分かりやすい記載を検討してまいります。② ご指摘の繰越金過多の件は、26年度の役員会でも懸案となっていた。以前の自治会財政はかなり厳しい時期があり、業者に製本を依頼していた総会議案書を手作りに変更するなど、様々な努力を重ねてきたと聞いている。その結果収支に余裕が生まれ、この状況に落ち着いたようだ。ただ、このような多額の繰越金をプールし続けるのは自治会としていかなものかという認識はあり、例えば防災備品の充実化など確実に住民の皆さんの役に立つお金の使い方をし、毎年あまり多くのお金を残さず、しかも苦しくない運用の検討を次年度に引き継ぎたい。③ 自治会活動に関する保険については、管理組合が加入しているマンション保険のリクリエーション部分での運用で賄えると判断している。④ 預金額も高額ではないので、残高証明書までは不要と考えますが、ご指摘のとおり、次年度への引き継ぎの中で通帳のコピーの添付を盛り込むよう検討してまいります。

以上、(回答は26年度 西田会長)

## (2) 議案3, 4号について

【意見】①慶弔支出は現在、会員逝去の際のお香典のみだが、少子化・人口減少の折、ぜひ、会員にお子さんが生まれた際のお祝い金を検討していただきたい。②自然災害に対して、防災はできないが減災

はできる。例えば最近話題になっている富士山の噴火への対策として、実際どのようなことができるのか等、自治会で検討課題として取り上げてほしい。

〔回答〕お子さん誕生のお祝い金については、検討課題とさせていただきたい。②ウェルシーには防災士の資格保持者もおり、防災協議会を通じて減災に関する活動・広報をしていきたいと思う。昨今防災防災についての議論は盛り上がってきており、災害に対しては防災協議会・自治会防犯防災部とともに準備をすすめていきたい。

【意見】議案 4 号収支予算案について。前年度予算と今年度予算を並べた表になっているが、予算どうしを比較しても意味がない。前年度実績と比較してどう予算を立てたかということが重要。たとえば防災備品整備金が前年度予算に比べ 18 万円も増えているが、この要因はなにか。この予算案の表だけでは、何にいくら支出する予定なのかということを理解するのは難しい。

〔回答〕ご指摘の通り、今後は前年度実績に対する次年度予算案立案という方向で、修正を施しながら考えていきたい。

【意見】本当に今の親睦行事のあり方でいいのか。目的に合ったものを実施していただきたい。

〔回答〕行事については、過去の経緯などまだよくわからない部分もあるが、役員会で協議して、必要性を見極めながら考えていきたい。

【意見】防災の件について。ウェルシーには防災アドバイザーが 3 名おり、市から防災についての方針や情報が入ってくる。これらを防災協議会を通じて発信していきたい。防災は、組織で防ぐというより隣近所や個々で備えていくことが大事。アルファ米の備蓄にしても、本当に必要か？という声の一部の自治体で言われ始めており、防災備品についての考え方も以前とは変わってきている。住民一人一人の防災知識を 広めることを自治会も考えていただきたい。

【意見】最近ウェルシーにはひとり暮らしの高齢者が増えており、ウェルシークラブに入っている方についてはお互い日頃の様子がわかるが、入っていない方も多く、場合によっては孤独死という事態が起こらないとも限らない。それを防ぐ為の見守りのしくみなど、具体的な対策がそろそろ必要ではないか。

【意見】団地の将来のことを考えると、例えば独居高齢者どうしのシェアハウスなど、今までとは認識を変えてゆくそのスタートの時期だと思う。団地内に高齢者が増えていることは確実で、これは社会全体の問題ともなっており、自治体として孤独死を防ぐための努力が必要になってくると思う。

〔回答〕具体的なことはこれから詰めていくが、ここで皆さまにいただいた様々なご意見やアイデアを、今後の参考にさせていただきたい。貴重なご意見をありがとうございました。

以上、回答は 27 年度 倉嶋会長・奥野山副会長

#### 4. 採決の結果について

- ・ 議案 1～5号の各号と平成27年度自治会役員21名は、原案どおり拍手多数により承認されました。（各議案の内容については、配布済みの議案書を参照ください）